

事例 : No. 22

【人材育成による提案型施業の実施と機械化の推進】

1. 林業事業体等名称 みやまむら 美山村森林組合 (和歌山県日高川町)

2. 林業事業体等の概要

- ①年間素材生産量 6,000m³ (うち 間伐の占める割合 100%)
②生産する主な樹種 スギ、ヒノキ (割合 70:30)
③素材生産に関わる作業員数 14名 (5名、5名、4名、3セット)

3. 取組の特長

- ・団地化の設定や作業方法を検討するにあたり、森林組合の内勤職員と現業職員（作業班）、林業普及指導員が協力しながら、共に現地調査や現場完了後の検証を行い、路網の整備や搬出作業システムの構築を目指している。
- ・また、施業の提案や透明性の高い見積・精算システムの確立（低コスト施業プラン）に取り組んでいる。
- ・平成 17 年度から、「とにかく出材を」を合い言葉に作業道開設と高性能林業機械を組み合わせた低コスト搬出間伐に取り組むをはじめ、林産技術の向上のためのオペレーター等の人材育成とコスト意識の向上を図り、「森林所有者への収益還元」を目的とした「提案型施業」に積極的に取り組んできた。

4. 具体的な内容

①素材生産用保有機械

スイングヤーダ 1 台 (0.25m³ クラス)、ハーベスタ 2 台 (0.25m³ クラス)、フォワーダ 2 台 (2.8t クラス)、グラップル 2 台 (0.25m³ クラス)、ウインチ付きグラップル 3 台 (0.25m³ クラス)、ダンプトラック 2 台 (2t)、トラック (8t)、トラッククレーン (4t)、集材機 2 台、ミバック杓 1 台、その他リース機で対応

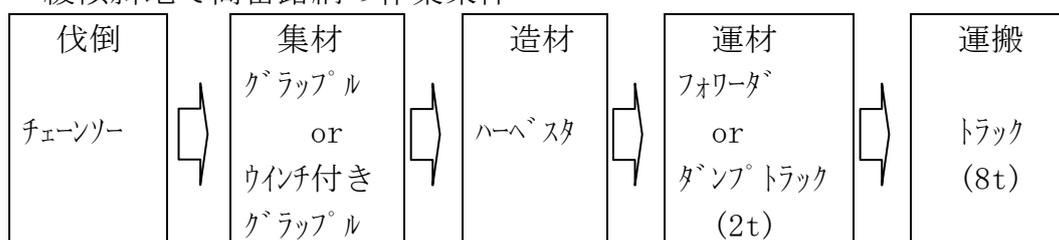
②作業路作設方法

表土ブロック積工法、幅員 2.5m、密度 50~100m/ha（作業条件により距離を決定）、作設単価 3,000~4,000 円/m

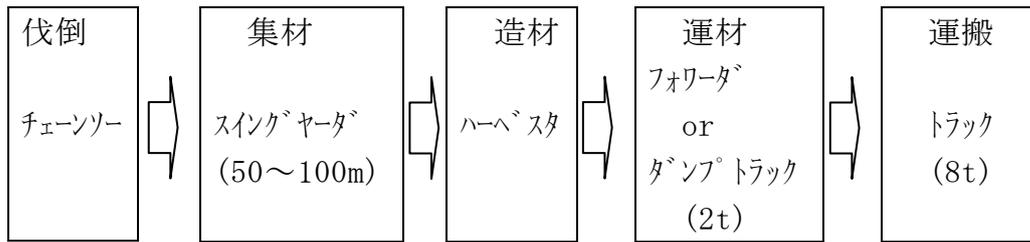
③作業システム

現地の傾斜や路網の作業条件に応じて作業システムを選択する。

- ・緩傾斜地で高密路網の作業条件



- ・急傾斜地等路網密度が低い条件

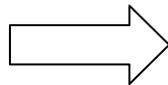


特徴：出来るだけ高密路網でグラップルによる集材で生産性の向上を図っている。

④労働生産性

定性間伐と集材機

2. 0 m³/人日



高密作業路網と高性能林業機械

5. 3 m³/人日

5. 今後の取組等

- ・これまでの取組の結果、平成 17 年度(460m³)の素材生産量の 13 倍以上に実績を伸ばし、現在、林産班 3 班体制により安定供給を目指す体制を整えることができた。
- ・今後は、所有規模の大きくまとまりのあった施業地から複数の小規模森林所有者のとりまとめによる施業の集約化、団地化を進め、効率的な作業路網の整備、間伐材の搬出施業を図っていききたい。

資料：写真



スイングヤーダによる集材（急傾斜地）



作業路開設状況



積込・運搬状況

【報告者】

和歌山県日高振興局地域振興部林務課

林業普及指導員 岡本 憲治